

大阪マイペンライ 第20回総会

2012. 5. 29
PLP 会館中会議室



アジア保育教育交流推進実行委員会

大阪マイペンライ2012年度第20回総会議案目次・次第

第1部

第1号議案 活動の経過と方針

- 1 マイペンライのこれまでとこれから
- 2 サワディ基金のとりくみ
- 3 来日招聘研修のとりくみ
- 4 スタディツアーのとりくみ
- 5 こどもスタディツアーのとりくみ
- 6 絵本プロジェクトのとりくみ
- 7 組織活動について
- 8 現地 NGO との連携した活動の推進について
- 9 「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の経過について

第2号議案 2011年度決算と2012年度予算案

第3号議案 2012年度役員体制案について

第4号議案 その他

第2部

記念講演の部

ムアイ 氏 (シーカーアジア財団図書館事業責任者)

松尾久美 氏 (シーカーアジア財団国際部責任者)

「共に生き、共に学ぶ・・・4年間の国際ボランティア貯金事業を振り返って (仮題)」

※表紙の写真は2012年2月に実施した、「国際ボランティア貯金寄附金配分事業」によるバンコク公開保育研修事業の様子 (写真提供はタイ在住の瀬戸正夫さん)

2011年度活動日誌

2011年

- 5月25日(水) 2010年度第4回実行委員会
報告事項(2011年度の「国際ボランティア貯金」寄附金助成事業の実施計画の提出、2010年度事業にかかる会計監査の指摘と2011年度事業実施計画にかかる問い合わせについて、2011年度国際ボランティア貯金寄付金事業の具体化について)
協議事項(2011年度第19回総会の開催について、2011年度役員体制について、2010年度「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の完了報告書)
- 6月2日(木) 2011年度第19回総会
6月21日(火)～27日(月) 「国際ボランティア貯金」寄付金配分による第1回公開保育研修事業(バンコク)
- 7月8日(金) 第1回実行委員会
報告事項(2011年度第19回総会について、2010年度「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の完了報告書の提出とこれにかかわる問い合わせ、2011年度国際ボランティア貯金寄付金事業の実施について)
協議事項(2011年度招聘研修の実施について、スタディツアーの実施について、モン・2012年カレンダーほかの販売について)
- 7月15日(金) 招聘研修打ち合わせ会議
9月10日(土)～24日(土) 招聘研修
9月22日(木) 多文化共生セミナー
11月17日(木) スタディツアー事前学習会
12月5日(月) 研修事業打ち合わせ会議
12月7日(水) スタディツアー事前学習会
12月11日(日)～18日(日) スタディツアー(西タイ)
12月21日(水)～23日(金) 第2回公開保育事業事前調整スタッフ派遣
1月5日(木) 研修事業打ち合わせ会議

2012年

- 2月3日(金) 第2回実行委員会
報告事項(2011年度招聘研修の実施について、スタディツアーの実施について、2011年度国際ボランティア貯金寄付金事業の実施について、SVA 関事務局長の訪問について、シーカーアジア財団との打ち合わせ)
協議事項(2011年度「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の実施、年間活動計画について)
2月11日(土・祝) スタディツアー総括会議
2月14日(火)～20日(日) 「国際ボランティア貯金」寄付金配分による第2回公開保育研修事業(バンコク)
- 4月19日(木) 第3回実行委員会
報告事項(2011年度「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の実施)
協議事項(2012年度第20回総会の開催について、2011年度国際ボランティア貯金「寄附金配分事業の完了報告書について、2012年度招聘研修の日程について)
- 5月21日(月) 第4回実行委員会
協議事項(2012年度第20回総会の開催について、2012年度招聘研修の実施について)

とりくみ予定

- 5月29日(火) 2012年度 第20回総会
6月30日(土)～7月14日(土) 招聘研修

第1号議案 活動の経過と方針

1 大阪マイペンライのこれまでとこれから

(1) 大阪マイペンライの結成 大阪マイペンライは1993年4月に結成されて以来、部落解放同盟大阪府連合会、大阪府教職員組合、自治労大阪府本部の3組織を中心としながら、多くの団体・グループ・個人の皆さんの支えをいただき、取り組みを進めてきました。また、日本においてはシャンティ国際ボランティア会(SVA)、タイ・カンボジア・ラオスではドゥアン・プラティープ財団(DPF)やシーカ・アジア財団の協力・連携のもと、活動を進めています。

大阪マイペンライ結成の契機は、1990年の国際識字年でした。「国際化」が叫ばれ、「日本の国際貢献」「アジアの中の日本(と日本人)」が大きなテーマになっている中、私たちは、それぞれの団体が反差別・人権擁護の立場で国際交流を進めてきましたが、国際識字年を期に活発化したアジア太平洋各地の識字運動・民衆教育運動との交流が拡大し、草の根の人権教育関係者のネットワークづくりが進められていることに注目しました。そこで私たちは、大阪の部落解放運動や同和保育・教育の経験を積極的に紹介し、タイ・インドシナ地域をはじめとするアジアの民衆教育運動との相互交流・支援を活発化させることを目的に、結成しました。

今、地球上には約10億人の成人識字者(読み書きの機会を奪われた人)とともに、1億人の学校へ行けない子どもたちが存在しています。その大半(4分の3)は、タイ・インドシナ地域をはじめとするアジアの国・地域です。くわえて年間1200万人もの5才未満の幼い子どもたちが、風邪や下痢やはしかや栄養不良、飢餓などで死んでいます。アジアのスラムや農村の子どもたちは、貧困と差別の中で生きる権利すらおびやかされているのです。国連の子どもの権利条約を具体化し、アジアの各地に学校や保育所とともに地域の教育・生活・福祉の環境を整備することが緊急の課題であり、この面でこそ日本の「国際貢献」が求められています。

(2) 互いに学びあう関係 アジアの子どもたちがおかれている状況をふまえつつ、私たちは、支援する側、される側という一方的なものではなく、一人一人お互いの顔が見える関係、お互いに学びあい相互に助け高めあえる関係として、この間の活動を土台に、より一層の広がり高めをめざし、今後の活動を進めていきます。

大阪マイペンライはこれまで、人材育成を目的とした「サワディ基金(奨学金)」の取り組み、結成以来、継続して取り組んできた相互交流プロジェクト(招聘研修、スタディツアー)、翻訳絵本の提供を目的とした絵本プロジェクト、5周年事業の「保育・教育セミナー」、10周年事業の「障害児保育・障害者の生活から学ぶワークショップ」・「自立をめざすアジアの子どもたちの国際交流事業」、15周年記念事業としてスタートし、4年目を迎える「国際ボランティア貯金」寄附金助成による「タイ保育研修事業」を取り組んできました。これらの取り組みの中で、あらためてタイのスラムや農村の現状を目の当たりにし、新たなニーズを実感しました。

(3) 結成20周年に向けて

大阪マイペンライは1993年に結成され、来年の2013年に20周年を迎えます。今後の活動については、シーカーアジア財団をはじめとしたカウンターパートナーとの連携を深めつつ、昨年の総括を踏まえ、「招聘研修事業」「スタディツアー」の相互交流、「絵本を送る活動」「サワディ奨学金」の4つの活動を柱に進めます。また、4年間の「国際ボランティア貯金寄附金の配分による事業」の成果の定着をめざして、シーカーアジア財団のとの連携した取り組みを進めます。

結成20周年を記念する事業については、その実施方法などを含め実行委員会での検討を行います。

2 サワディ基金のとりくみ

(1) とりくみの経過

サワディ基金は1993年に設立し、94年に支給を開始し、本格的にスタートしました。この基金は、タイのNGOの職員で農村やスラムの保育所・幼稚園で働きながら、夜間の専門学校や大学で学んで保育士・教師などの資格取得を目指す若者たちに対して、年額1万バーツ(約3万円)を支給することでスタートしました。

これまでに、94年に70万円、96年に50万円、98年に50万円、2001年に50万円、2003年に200万円を奨学資金として現地のNGOに送り、運用を委託しました。現時点で、基金は現地からの報告によると、約409423バーツ(約104万円)残っています。奨学生が生き生きと活動し、勉学の励みでいる姿を受け止め、この活動を継続していくことの重要性を確認しています。

(2) 財源の確保

この奨学金の財源は、団体会員や個人会員からのサワディ基金に寄せられた寄付や、アジアの農村やスラムの人々の手作りのクラフト販売で得た差益を積み立てて、充当しています。これらの資金を、タイのNGOであるSVA・DPFに運用を委託し、給付しています。引き続き、会員へ協力を呼びかけ、寄付を受け付けるとともに、基金が一定額に達していることから、クラフト販売の差益については、大阪マイペンライ活動全体へ運営資金とします。

(3) 奨学金の給付方式について

これまで多くの方からサワディ基金に協力をいただき、今後も奨学金の「給付」と言う形によって有効に活用します。

(4) 奨学生の選考など基金の運用について

奨学生の選考、奨学資金の運用などについてはSVA（シャンティ国際ボランティア会）・シーカ・アジア財団（SAF）・DPF（ドゥアン・プラティープ財団）の協力を得ながら、進めることとします。

3. 招聘研修の経過と取り組み

(1) 2011年度の取り組み経過

昨年の総会での決定である「招聘国を現状の1年1カ国の招聘とする。」ことに基づいて、第19回招聘研修は、9月10日（土）～24日（土）の2週間、タイからのドゥアン・プラティープ財団のゲストを招き実施され、府内各地で交流が展開されました。ゲストは2名で、通訳同行は同財団の中川さんです。

タイから事前に大阪での研修希望が届き、その期待に応えようと受入れ組織が集まっての調整会議を開き、受入れ組織内においても細やかな調整をいただき、楽しい交流が展開されました。

① 受け入れいただいた団体

- 部落解放同盟大阪府連合 北芝支部
- 大阪府教組豊中市教職員組合
- 自治労茨木保育ユニオン
- 自治労大阪市職民生支部

2011年大阪マイペンライ招聘ゲストプロフィールと研修希望について

タイ（ドゥアン・プラティープ財団（DPF））	
名前 職場・業務内容 研修目的	<p>Mrs. タッサニー・ヘンブラセットさん(女性) ニックネーム：メツさん 担当：高齢者プロジェクト 担当 勤務年数：14年 研修目的： 日本の高齢者の方々の暮らしぶりを視察したい。 高齢者に対する政府側の対応について知りたい。</p> <p>miss ノンラック・パーンデットさん(女性) ニックネーム：ラックさん 担当：幼稚園職員 勤務年数：8年 研修目的： 日本の幼稚園を視察し、その教授法について学ぶこと。 幼稚園教師の福利厚生面について知りたい。 老人ホームの視察を通して、彼らの一日の生活について知りたい。</p>
通訳・同行	中川紀子さん（ドゥアン・プラティープ財団）

② 2011年（第19回）大阪マイペンライ招聘研修スケジュール

2011年9月10日（土）～24日（土）

日程	時間	活動内容
9月10日 土	18:30	関西空港着（TG672） ホームステイ先へ ホームステイ
11日 日	13:00～	ゆっくり過ごす オリエンテーション 解放同盟・教組・自治労の運動経過と現状課題 研修スケジュールについて ホームステイ
12日 月	9:00 10:00～ 12:30～ 16:00	豊中教職員組合 市立とねやま幼稚園（交通安全教室見学） 蛍池小学校 6年生 給食交流、授業見学・交流（タイのこどもの話などお願いします） ホテルチェックイン 夕食 歓迎会 ホテル
13日 火	9:00 9:30 11:00	ホテル出発 第18中学校見学・交流 蛍池保育所見学・交流

	12:30 14:00 16:30	昼食（豊中駅前・タイ料理） 豊中市箕面市養護老人ホーム組合永寿園見学 喫茶サロンにてお年寄りと交流 永寿園出発 夕食	ホテル
14日 水	8:00 8:40 9:00 9:40 10:00 13:00 過ぎ 17:00	朝食 ホテル出発 豊中市長・（教育長）表敬訪問 市役所出発 日本民家集落博物園 服部緑地都市緑化植物園 部落解放同盟大阪府連合会北芝支部 北芝支部にてオリエンテーション・地区内フィールドワーク 運動の歴史と現状の課題など 障害がある中高生のグループ活動（調理） 夕食	コミュニティハウス 泊
15日 木	10:00 ころ 夕方	萱野老人いこいの家（高齢者デイケアセンター） 高齢者の実態と活動（町角ディサービス、 高齢者の見守り活動） 子育て支援 寺子屋、和太鼓活動	コミュニティハウス 泊
16日 金	9:30 午後 15:00 16:00	萱野小学校 （5年生授業参加：多文化理解教育の授業・タイの生活やこども達の現状を映像で） 昼食 コミュニティレストラン 隣保館活動 教育事業 こども活動 ホームステイ先へ移動	ホームステイ
17日 土	13:30～ 14:00～ 17:00	大阪市立子育ていろいろ相談センター着・見学 絵本ワークショップ 講師：加藤啓子さん	ホームステイ
18日 日		観光	ホームステイ
19日 祝	10:00 14:00～ 夕方	茨木マイペンライ 茨木保育ユニオン ホテルチェックイン (22日夜セミナー準備) ホテルへ迎え 茨木保育ユニオン夕食交流会	ホテル
20日 火	9:15 35 11:30 14:00 15:45 17:30	茨木市立子育て総合支援センター 茨木市立あけぼの学園（知的障害児通園施設） 茨木市立中央図書館・昼食 茨木市立葦原ディサービス見学 茨木市立春日保育所見学 自治労大阪市職民生支部 夕食	ホテル
21日 水	9:30 11:00 14:00 15:30	大阪市立清水保育所 大阪市立大宮第1保育所見学交流 特別養護老人ホーム サンローズ大阪見学 釜ヶ崎地区見学	ホテル
22日 木	9:30 午後 18:30～	淀川子育て支援センター見学 西中島幼稚園見学 セミナー準備（民生支部老松事務所にて） 多文化共生セミナー セミナー終了後 お別れ会	ホームステイ
23日 金		観光・買い物など	ホームステイ
24日 土	8時	出発 帰国 TG6 23 11:45 関西空港発	

(2) 招聘研修事業の取り組みの方向

- ① これまで、タイ、カンボジア、ラオスから現地のNGOスタッフを2か国ずつお招きし、大阪で研修・交流する事業として取り組んでおり、1993年から2010年まで毎年1回休むことなく実施してきました。この結果、3か国から延べ109名(通訳・同行含む)のスタッフをお招きすることができました。大阪での交流は一つのグループが3か所ずつの職場・地域で交流するという形で、その数は100か所の上と思われ、現場で受け入れることで、多くの人々との大衆レベルの顔の見える交流が実現しています。
- ② 昨年の総会で、「招聘研修事業を継続していくことを前提にしつつ、大阪での受け入れ態勢の問題、派遣する側のNGOの課題を考慮し、検討を行なう。」として次のとおり、取り組みの方向性を確認してきました。
 - ・ 招聘国を現状の1年2カ国(タイと、カンボジアかラオスからの招聘という方式)について見直し、1年1カ国の招聘とする。招聘については、当会の通年的な事業の実施と関連付けて招聘国及びスタッフを選定するとし、昨年からタイの2つの協力団体(シーカーアジア財団とドゥアン・プラティープ財団)1年ごとに交代で招聘することとしました。
 - ・ 招聘期間の短縮については今後の検討課題としました。毎年3つの団体による受け入れという方式を基本としつつ、1か国の招聘としたことによって、1つの団体が1つの国を2泊3日の期間で受け入れる形で実施することとしました。

(3) 2012招聘研修の実施について

招聘研修の実施にあたってはドゥアン・プラティープ財団、シーカーアジア財団の協力を得、受け入れにあたっては、3つの大阪マイペンライ団体会員に、それぞれ多大なご協力をいただいています。今年度の実施に当たっては、①1年1か国の招聘、②招聘期間は2週間、③各団体1か国の受け入れの内容で関係先との協議を行い、日程等の具体化を図ることとします。

受け入れ先については、自治労大阪府本部、大阪教組および部落解放同盟大阪府連に要請することとします。

招聘研修の日程案は次のとおり。

6月30日(土)来日～7月14日(土) 帰国

招聘先 タイ シーカーアジア財団 2名 同行通訳 1名

目的 4年間の国際ボランティア貯金事業の検証、スタッフの研修

4. スタディツアーについて

(1) 2011スタディツアーの取り組み経過

昨年の総会での決定である「行き先国については1か国として募集する。」ことに基づいて、次のとおり取り組みました。

日程 2011年12月11日(日) 深夜便～18日(日) 早朝

行先 タイ(西タイおよびバンコク)

参加者 7名(うち1名は現地から参加)

事前学習会 第1回学習会 11月17日、第2回学習会 12月7日

総括会議 2月11日(土・祝) 18:30 市従市民生活支部事務所

絵本の持参 タイ語訳絵本120冊

スタディツアー2011 日程

日時	内容	宿泊
12/11 (日) 22:00	関西空港集合	
12(月) 0:30	深夜便にて出国(TG673)	機内
12 (月)	5:00 バンコク到着、 出国手続きし、ロビーで待機。 ※メーソット行きフライトが現時点で不確実、車両移動の可能性あり 11:00 BKK - メーソット (DD8116) 12:30 メーソット空港到着 13:00 昼食 13:30 ミャンマー国境の見学 14:00 ミャンマー移民学校2校訪問(移動図書館活動の見学、学校視察) 19:00 夕食 20:30 ターソンヤン郡へ移動 22:00 ホテル到着、休憩	ワサン・ゲストハウス泊 (+66-81-971-3325)

13 (火)	7:00 10:00 12:00 13:00 16:00	出発、朝食 メーラムン学校到着 学校の視察など（折鶴交流あり） 昼食 子どもたちの出身村の視察 奨学生のホームステイ先へ移動 ホームステイ先の家族と過ごす	ホームステイ泊 （ターソンヤン郡メーソン区）
14 (水)	18:00	ホームステイ先で行動（農作業など各家庭での作業に従事） 学校にて文化交流会（出し物あり）	ホームステイ泊 （ターソンヤン郡メーソン区）
15 (木)	7:00 11:30 12:05 13:00 15:00 18:00	ホームステイ先を出発、空港へ 空港着 メーソット - ドンムアン（DD8117） ドンムアン空港到着 ホテルチェックイン 休憩（料理材料の買い出しあり） 夕食	※メーソット行きフライトが現時点で不確実、 車両移動の可能性あり ホープランド エグゼクティブ レジデンス（ホテル）泊 （+66-2-712-1555）
16 (金)	8:30 9:00 12:00 13:30 15:30 16:30 19:00	ホテルを出発 チュアパーンスラム、スアンプルー再開発地区 視察 おやつ作り（白玉みたらし団子？） 昼食 プラティープ財団訪問 シーカー・アジア財団 事務所 併設図書館にて活動参加（おやつ作り） 夕食	ホープランド エグゼクティブ レジデンス（ホテル）泊
17 (土)	終日 18:00 20:30 23:15	自由・市内観光など 夕食 空港へ向け出発 深夜便にて帰国（TG622） / 19(日) 6:25 関空着	機内泊

（２）スタディツアーについての取り組み方向

- ① これまで、大阪の保育・教育をはじめとした現場のスタッフが直接アジアのNGOの仲間と交流することを目的に実施し、17年間で延べ255名の参加者が現地を訪問しました。例外はありましたが、原則2つの国を訪問することとし、タイについては毎年、ラオスとカンボジアについては3年ごとに交代して募集してきました。2001年の「同時多発テロ」の年、およびバンコクの政治的混乱の年についてはツアーを中止とすることとなりました。
- ② 昨年の総会で、行き先国、ツアーの目的の明確化、参加費の検討、などについて検討し、次のような内容で取り組むこととしました。
 - ・行き先国については1か国として募集する。
 - ・ツアーの目的・日程について、毎年検討し、協力団体と事前協議して実施する。
 - ・募集時期の繰り上げなどの努力を行い、参加費の減額を検討する。

（３）2012年度の取り組み

スタディツアーの企画・実施に当たっては、ドゥアン・プラティープ財団およびシーカーアジア財団との協議を前提に、①行き先国については1か国とし、タイとする。②協力団体と協議し、ツアーの目的を明確化し、③募集時期の前倒しなどの改善によって参加費の減額をめざす、などの点を踏まえて、取り組むこととします。

5 こどもスタディツアーのとりくみ

（１）2011年度の取り組み

子どもツアーについては、取り組みませんでした。

（２）2012年度の取り組み

従来、シーカーアジア財団に協力いただいて取り組んできましたが、この間、応募が少人数にとどまっている現状があり、実施するかどうかも含めて検討することとします。実施する場合については、夏休みの時期に取り組むこととします。

6 絵本プロジェクトのとりくみ

(1) 取り組みの現状

絵本ボランティア活動は、自治労大阪府本部の会議室での、毎月第3木曜日の活動とともに、5ヶ所のボランティアグループの拠点での翻訳絵本作りが行なわれています。また、自治労大阪市従市民生活支部では、独自の国際貢献の活動として絵本作りが取り組まれました。

絵本作りは、ボランティアの参加者の数は決して多くありませんが着実に、そして楽しんで、作業を続けています。また、参加者の中からスタディツアーへ参加されたり、逆にツアー参加を機に絵本作りにこられたりと、いずれも子どもたちに絵本を！という気持ちをいただいていると思います。このように、多くの皆様のご協力を得て進めている絵本プロジェクトの成果は確実に現地に届いています。

〔ボランティアグループ〕

自治労大阪府本部（大阪マイペンライ） 毎月第3木曜日 P L P会館

（自治労大阪市従業員労働組合民生支部、一般市民、高校生などの皆さんが参加しています）

「アンコー会」（浪速絵本グループ）第2金曜日午後6時 谷町九丁目アベビル

マイペンライ茨木

カンボジアに絵本を送る富田林連絡会

マイペンライ兵庫

自治労大阪市職員労働組合北区役所支部

その他 たくさんのボランティアの方々による

これら、多くのボランティアによって作られた翻訳絵本は、スタディツアーのメンバーが現地を訪れ、現地の様子を肌で感じ、翻訳絵本を自らの手で届けてきました。

(2) 絵本活動についての今後の方針

昨年の絵本活動の見直しの結論に基づいて、次のとおり取り組みます。

① 著作権問題と使用する絵本のタイトルについて

著作権問題については、著作権侵害という指摘があったときに、当会だけでは対応できない問題であり、SVAが示す著作権上使用できないタイトルについては、今後は作成対象からは除外する。今後はタイ語の絵本について、翻訳シール貼りの取り組みを進めることとし、タイ語の絵本の著作権問題については、シーカーアジア財団と協議の上対応する。

② 絵本を送る活動の「方式」について

SVAの協力を得て進めてきた「カンボジア語・ラオス語の絵本を直接届ける方式」の継続は困難と判断し、当会としてカンボジア語・ラオス語の絵本を直接届ける取り組みについては断念することとします。

タイ語については、SVAとしては取り組んでおられないので、シーカーアジア財団と協議しつつ、「絵本を直接届ける方式」に基づいて取り組みを継続することとします。

③ 翻訳絵本の品質の問題

「子どもによりよい言葉の本を提供したい」とするSVAの方針は了とし、そのために必要な対応を行うこととします。当会のボランティア活動や各グループの活動において、経験者がアドバイスして貼り間違いなどをなくし、チェックするなどして、より良いものを提供する努力が必要です。また、翻訳の質の向上のために、シーカーアジア財団にも協力いただいて、改善を図ることとします。

7 組織活動について

(1) 活動の現状

① 会員の状況

大阪マイペンライは部落解放同盟大阪府連・大阪教組・自治労大阪府本部の組織的協力を得つつ、団体会員、個人会員の協力、自主的な参加によって19年間の取り組みを進めてきました。また、財政的にもこれらの組織・個人に支えられて活動を進めることができました。今後も、組織的な協力を得つつ、個人の自主的な参加という、大阪マイペンライ的な活動スタイルを維持しながら、進めていくこととします。

会の現状としては、2012年3月現在の個人会員は97名、団体会員は21団体と、会員の減少となっており、会員拡大の取り組みが必要となっています。

② 財政

収入に対して、会費の占める割合は12%と依然低い状況にあります。このため、「国際ボランティア貯金」事業の経費を補うための寄附に加え、借入金によって一時的に赤字を解消せざるを得ない実態となっています。

会費は安定した財政基盤であり、会員の拡大を通じて、財政的な支えの拡充を図っていかねばなりません。2003年度からクラブ売上金を一般収入に繰り入れることとしましたので、さまざまな機会を通じてクラブ販売による収入の増をめざします。今年度もシーカーアジア財団の協力によってモン・カレンダーを作成

し、3団体をはじめとした会員の協力を得てあっせんしました。

③組織基盤の確立

引き続き3団体をはじめとした団体会員・個人会員との連携を強め、会の基盤の充実に努めることとします。その延長線上に、特定非営利法人（NPO）化に向けた準備を進めます。

④通信の発行

第83号（2011.8.18）第84号（2011.9.11）第85号（2011.12.5）第86号（2012.4.25）

⑤ホームページの開設

2011年4月、当会のホームページが出来上がりました。今後、改良を加えて親しみやすいものへとしていきたいと考えています。

（2）組織の「特定非営利活動法人」への移行も含む今後のあり方の検討について

当会は発足以来、任意団体として活動してきましたが、発足19年を経て社会的な認知を得ており、今後、特定非営利活動法人（NPO）へ組織を移行も含め、組織のあり方について検討することとします。

8 現地 NGO との連携した活動の推進について

（1）取り組みの現状

2008年度以来展開してきた大阪マイペンライ15周年事業は、タイに焦点を当てシーカー・アジア財団とともに実施してきました。この4年間の事業は、前半の2年間で保育者向け研修事業と研修教材開発センターの設置及び学生寮等の整備、後半の2年間で公開保育研修事業でした。そのめざすものは、シーカー・アジア財団が20年間取り組んできた絵本の楽しさと遊びの楽しさを子どもたちに提供する活動をより広く、深くタイ社会の保育者や子どもたちに伝えたいとの願いを受け止めて実施した研修事業と、それを定着させ、現地の自律的取り組みを進めるための環境整備でした。

（2）タイの現状

近代化はますます進み、高層ビルや商業地域・高級マンションが立ち並び開発が進むタイ社会ですが、マイノリティの住民社会における就学前保育・教育現場の環境はとて厳しく、改善されていないのが実情です。子どもたちにかかわる保育者がより良い保育・教育を求めても、研修の機会はほとんどなく、子どもにかかわる職員体制もとて厳しく、子どもを安全に日々預かることで精いっぱい、「子どもたちはテレビを見て過ごすだけで、走ったり遊んだりしない」との生活実態もやむをえないのではと理解せざるを得ない状況です。これら実態からの改善は、関わる保育者・保護者の願いであり、また改善に向けての現在唯一の希望は、シーカー・アジア財団が実施する研修の機会、おもちゃや絵本・教材の貸出し、保育・教育にかかわる情報の提供のみであると言っても過言ではないのです。2008年以來研修時に会おう多くの保育者の訴えからの実感です。

（3）シーカーアジア財団の現状と課題

タイのマイノリティ社会の保育・教育の現状は、シーカーアジア財団が従来からの取り組んでいる図書館活動・移動図書館活動・奨学金貸与活動とともに、同財団が運営する教材開発・研修センターが実施する保育・教育の内容にかかわる情報の提供・保育者対象の研修の開催を、必要不可欠のものとして、より一層の拡充をめざすことを求めています。

このような中で、シーカー・アジア財団はSVAからの財政的な自立をめざし歩んでいます。その中でも、教材開発・研修センターについては、大阪マイペンライが共同して設置したもので、その活動の継続と運営の安定を希望するものです。そのためには財政的な安定と人材の確保が不可欠と認識しています。

そのため、シーカー・アジア財団が同センターの運営のための自主財源の確保するまでの当分の間、大阪マイペンライとして大阪を中心とした保育・教育の関係者の皆様のお力を借りし、子どもの育ちを豊かにする教材開発・研修センターの保育・教育の内容にかかわる情報の提供や保育者対象の研修の開催が滞ることのないように資金援助の取り組みを行うこととします。

教材開発・研修センターの運営の支援のための特別資金活動（案）

1口 10000円

個人	1口	10000円から	1年間	50口をめざす	2012年から5年間
団体	5口	50000円から	1年間	150口をめざす	2012年から5年間

9 「国際ボランティア貯金」寄附金配分事業の経過について

1 平成22年度国際ボランティア貯金寄附金による配分事業

配分事業名（対象国・地域）	保育スタッフ研修及び親子保育研修（タイ）				
配分額	3, 135	千円	（返還額あり。未確定）		
総事業費	3, 361, 105円（内自己資金 575,603円）				

2 配分事業の実施状況及び効果

(1) 第1回公開保育研修会事前調整

5月20日(金)～22日(日) スタッフ 松尾純代、稲葉貞夫

実施箇所についての選定の協議、決定、実施予定箇所の訪問、2011年度事業にかかるテキスト作成の準備

(2) 第1回公開保育研修事業(6月21日～27日)

派遣した日本人専門家・スタッフ

橋本 暢子 (こども情報研究センター・保育士)

徳永 和美 (こども情報研究センター・保育士)

森中 智也 (保育士)

松尾 純代 (大阪マイペンライ 帝塚山大学教員・保育士)

- ①6月21日 ・スラム視察 ・保育園・図書館で子どもの姿に学ぶ
- ②6月22日 ・公開保育実施か所についてオリエンテーション
・シーカーアジア財団のスタッフとともに公開保育シュミレーション
・準備物の用意

③公開保育(6月23日)

・プラサートシン保育園(6月23日午前中) 担当講師 橋本暢子

公開保育参加者(こども4～5歳 60人、保育者6人)

意見交流研修会参加者(外部見学者14人、当該保育園2人 園長1人)

・クロムガン幼稚園(6月23日午後) 担当講師 橋本暢子

公開保育参加者(5歳児 172人、保育者12人)

意見交流研修会参加者(外部見学者:13人、当該幼稚園:6人)

④公開保育(6月24日)

・ワットターカム幼稚園(6月24日午前) 担当講師:橋本暢子

公開保育参加者(4歳児 110人、保育者:6人)

意見交流研修会参加者(外部見学者 22人、当該保育所:5人)

⑤公開保育(6月25日)

・セータムクローマ二保育園(6月25日午前) 担当講師:徳永和美

公開保育参加者(2歳～5歳親子 28組)

意見交流研修会参加者(外部見学者 25人(行政担当者3人含む)、当該保育所:6人)

・ラートパタナー保育園(6月25日午後) 担当講師:森中智也

公開保育参加者(2歳～小学生親子25組)

意見交流研修会参加者(外部見学者 28人、当該保育所 4人)

⑥公開保育(6月26日)

・バーンテープ保育園(6月26日(日)午前) A 担当講師:森中智也、B 担当講師:徳永和美

A活動 公開保育参加者(2歳～小学生親子15組)

B活動 公開保育参加者(2歳～小学生親子14組)

意見交流研修会(外部保育者 20人、当該保育所:5人)

⑦6月27日 総括会議、次回開催について、これまでの公開保育で使用した資料を整理し、テキストの形にまとめていく。

(3) 第2回公開保育研修事業事前調整

12月21日(水)～23日(金)

スタッフ 松尾純代、稲葉貞夫

シーカーアジア財団と実施箇所の選定協議、公開保育実施箇所のニーズを踏まえた保育内容の検討、公開保育応募保育園・幼稚園・図書館等の視察、「保育実践テキスト」の作成準備、

セッションの実施内容の協議

パネルディスカッション

(4) 第2回公開保育研修事業(2月14日～20日)

派遣した日本人専門家・スタッフ

具志堅敬子 (愛染橋保育園・保育士)

工藤みゆき (こども情報研究センター・保育士)

藤田 峰生 (大阪市保育士)

松尾 純代 (大阪マイペンライ 帝塚山大学教員・保育士)

- ①2月14日 ・スラム視察 ・保育園・図書館で子どもの姿に学ぶ
- ②2月15日 ・シーカーアジア財団・大阪マイペンライ講師打ち合わせ

・シーカーアジア財団のスタッフとともに公開保育活動シュミレーション

③公開保育（2月16日）

チュワパーン地区中保育園（2月16日午前） 担当講師：具志堅敬子、ムアイ

公開保育参加者（3～5歳55人、保育者3人）

意見交流研修会（進行：ギップ）参加者（外部見学者23人、青年海外協力会スタッフ1人と通訳1人）

障がい児のための財団（2月16日午後） 担当講師：工藤みゆき、ギップ

公開保育参加者（3歳から13歳の子どもと保護者8組（子ども8人・おとな9人）、施設スタッフ4人）

意見交流研修会（進行：ギップ）参加者（外部見学者11人≪施設より人数制限あり）、青年海外協力会スタッフ1人と通訳1人）

④公開保育（2月17日）

ガーリミー保育園（2月17日午前） 担当講師：具志堅敬子、ムアイ

公開保育参加者（3歳児47人、保育者4人）

意見交流研修会（進行：プラー）参加者（外部見学者14人）

バーンスー保育園（17日午後） 担当講師：藤田峰生、ソムサック

公開保育参加者（対象：4・5歳23人、3歳児で入りたい子どもが数、（降所の時間帯で途中帰る子どもあり、先生：4人）

意見交流研修会（進行：ムアイ）参加者（外部見学者45人、当該保育園園長）

⑤公開保育（2月18日）

パークポー寺幼稚園（小中併設幼稚園）（18日午前） 担当講師：藤田峰生、ソムサック

公開保育参加者（対象：3歳・4歳・5歳各学年10組の親子=計30組、先生：3人、校長・教頭など見学参加）

意見交流研修会（進行：ムアイ）参加者（外部見学者21人）

バーンヤープレー区保育園（18日午後） 担当講師：工藤みゆき、プラー

公開保育参加者（3歳・4歳・5歳各学年5組ずつ親子15組、保育者2人）

意見交流研修会（進行：ソムサック）参加者（当該保育園運営委員3人、同地域保育園園長7人、外部見学者20人）

⑥2月19日 総括会議、テキスト作成準備、パネルディスカッションの打ち合わせ

⑦2月20日（10時～12時）

パネルディスカッション

テーマ=子どもの育ちのために力を合わせよう ～想像力をはぐくむ教材について考える～

参加者 79人

パネラー：ニックさん（マーシー財団社会福祉士=2011年2月公開保育実施保育園園長）

ガイさん（障害児生活施設・土日子どもかかわりボランティア、昨年度公開保育実施施設）

ブックさん（シーカーアジア財団事務局次長）

松尾純代（大阪マイペンライ）

ファシリテーター：ジョウさん（アートセラピー活動家、2010年9月にチュラロンコン病院で実施した公開保育研修のコーディネーター）

（5）バンコク公開保育研修会の成果と課題

①公開保育受け入れと研修参加状況

公開保育研修会とはどういう研修なのかが口コミ・通信（教材開発研修センター）で広がり、実施を希望する園や参加希望者が増加し定着してきた。

②運営の仕方

これまでの研修会では、日本の講師が研修会を主宰の形をとってきたが、その成果の上に立って、最終回（2月）の研修会の実施に当たってはシーカーアジア財団スタッフの講師力を示す場として運営方法を検討し、下記のように実施した。

研修会内容は、大阪の講師とシーカーアジア財団のスタッフとが対等に企画運営し実施する。

・シーカーアジア財団は、大阪の講師の企画案を土台に各実施する施設の立地条件を考慮しながら研修会活動内容を検討する会議を重ねた。

・シーカーアジア財団は同財団スタッフが担当する研修活動を立案し、検討を重ね、修正した内容を当会に提案した。

これらのシーカーアジア財団からの提案を受けとめ、活動内容を確認した

研修会当日、大阪の講師とともに、シーカーアジア財団のスタッフを講師の一員として紹介して研修会を進めた。

③現地スタッフのスキルアップ

シーカーアジア財団スタッフの質をアピールする機会であることを意識し、1日かけての研修会内容の確認・シュミレーション活動を行った。

また、シーカーアジア財団のスタッフが担当する活動内容には、学んだものをそのままではなくタイの文化・遊びにアレンジし作り上げた遊びが含まれ、応用する力・自ら遊びを工夫する力が身についたものとなっている。

④研修事業の定着

シーカーアジア財団からの研修会での運営方法として同財団スタッフを講師の一人として位置づけたいとの提案を受けて、スタッフの力量の到達度を確保するとともに、これを今後いかに定着させていくかの支援の在り方が問われている。同財団はすでにこれまでの研修事業でのスタッフのスキルアップを受けて、参加した保育園などの要望を受けて、独自に研修会を開催しているが、その定着・継続のためには経費の確保の問題もあり、行政などの公的な機関などにその必要性をたらしかけ、研修の委託を受けるなどの手法も必要となっている。

また、2月研修会最後のパネルディスカッションに予想以上に人が集まった。これは、4年間の研修会になかでアピールしてきた「遊びの大切さ」、「楽しさを共感・共有する」「親子が触れ合う快さを体感する」ことが重要だと保育者が実感が定着してきたことの表れである。

この参加者の実感をより高めていくには、4年間届けてきたメッセージを途切れることなく提供することが重要で、そのためにシーカーアジア財団・教材開発研修センターを大阪マイペンライとして今後も支えていかなければならない。

(6) 配分項目別経費の使用状況

配分項目			①配分額 (実施計画書の承認に基づく)千円	②変更承認後の配分額	③実際の使用額	④差額(①-③ 又は②-③)
項目	品名	数量				
日本人専門家・スタッフ航空運賃		12往復	969		918,340	50,660
日本人専門家・スタッフ滞在費		46泊	138		144,000	(-6,000)
日本人専門家日当		52人日	156		102,000	54,000
日本人専門家・スタッフ現地交通費(車両燃料費)			36		36,778	(-778)
通訳人件費		18人日	16		14,396	1,604
資料作成費		75か所	81		73,285	7,715
現地スタッフ交通費(車両燃料費)			96		28,564	67,436
現地スタッフ人件費		168人日	101		86,688	14,312
研修資料作成費		40人×12か所	128		123,840	4,160
現地運営補助スタッフ人件費		10人日×12か所	72		59,340	12,660
研修施設利用料・設営費		12か所	98		92,880	5,120

公開保育教材費		12か所	319		272,334	46,666
子ども保育用おもちゃ購入費			134		124,998	9,002
研修保育絵本購入費		30冊×12か所	195		180,125	14,875
研修参考図書購入費		12か所	130		115,462	14,538
資料翻訳料		25枚	54		46,440	7,560
パネルディスカッション施設利用料・設営費		1か所	13		11,610	1,390
保育テキスト印刷費		500冊	399		361,200	37,800
合 計			3135		2,792,280	349,498
団体自己負担額					575,603	

第2号議案 2011年度決算と2012年度予算案

2011年度一般会計決算報告(2011年4月1日～2012年3月31日)

収入の部

項目	内 訳	本年度収入額	昨年度収入額
会費	個人会費	198,000	222,000
	団体会費	520,000	430,000
助成金	助成金	0	0
事業収入	セミナー参加費	150,000	150,000
	招聘研修参加費	36,604	128,000
	物品売上	1,380,465	1,447,601
	ツアー参加費	1,180,000	1,260,000
雑収	雑収	37,089	62
	寄付	84,111	1,224,000
	借入金	0	500,000
	当年度収入小計	3,586,269	5,361,663
繰入金	繰入金	0	100,000
繰越金	繰越金	319,274	110,120
	収入合計	3,905,543	5,571,783

支出の部

項目	内 訳	本年度支出額	昨年度支出額
運営費	総会費	83,240	81,600
	通信費	297,740	143,843
	需要費	24,126	27,178
	事務局費	10,900	0
事業費	招聘研修	338,500	968,759
	子どもスタディツアー	0	0
	絵本プロジェクト	150,000	0

	交流費	0	0
	スタディツアー	1,179,997	1,503,837
	クラフト事業費	714,125	837,752
雑費	雑費	48,735	73,600
	返済金	150,000	0
	当年度支出小計	2,997,333	3,636,569
繰出金	繰出金	866,496	1,615,940
	支出合計	3,863,859	5,252,509

次年度繰越金 41,684円

2012年度一般会計予算案(2012年4月1日～2013年3月31日)

収入の部

項目	内 訳	本年度予算額	昨年度予算額
会費	個人会費	220,000	250,000
	団体会費	500,000	450,000
助成金	助成金	0	0
事業収入	セミナー参加費	150,000	150,000
	招聘研修参加費	50,000	150,000
	物品売上	1,400,000	1,300,000
	ツアー参加費	1,360,000	1,440,000
雑収	雑収	10,000	10,000
	寄付	50,000	500,000
	借入金	0	100,000
	小計	3,740,000	4,350,000
繰入金	繰入金	0	0
繰越金	繰越金	41,684	319,274
	収入合計	3,781,684	4,669,274

支出の部

項目	内 訳	本年度予算額	昨年度予算額
運営費	総会費	400,000	60,000
	通信費	220,000	180,000
	需要費	50,000	40,000
	事務局費	10,000	10,000
事業費	招聘研修	350,000	800,000
	子どもスタディツアー	30,000	50,000
	絵本プロジェクト	100,000	200,000
	交流費	20,000	20,000
	スタディツアー	1,360,000	1,440,000
	クラフト事業費	750,000	800,000
雑費	雑費	10,000	10,000
	返済金	350,000	500,000
	小計	3,650,000	4,110,000
繰出金	繰出金	100,000	500,000
予備費	予備費	31,684	59,274
	支出合計	3,781,684	4,669,274

サワディ基金収支報告書(2011年4月1日～2012年3月31日)

収 入

項 目	内 訳	金 額 (円)	備 考
-----	-----	------------	-----

繰越金		1477297	
寄付	大阪府教組よりの寄付	100,000	
その他	利子	310	
合計		1577607	

支出

項目	内 訳	金額 (円)	備考
事業費	奨学金	0	
繰出金	国際ボランティア貯金 事業への繰出し	300000	
繰越金		1277607	
合計		1577607	

サワディ基金収支予算書(2012年4月1日～2013年3月31日)

収入

項目	内 訳	金額 (円)	備考
繰越金		1277607	
寄付		100000	
その他	利子	393	
合計		1378000	

支出

項目	内 訳	金額 (円)	備考
事業費	奨学金	0	
繰出金	し	0	
繰越金		1378000	
合計		1378000	

サワディ基金会計報告

年度 月現在 単位:パーツ

項目	収入	支出	合計
2010年度末残金			412451.41
2011年奨学金		10,000	402451.41
2011年度利子	8787.18		411238.59
2012年上半年奨学金		10,000	401238.59
2012年度利子	8185.17		409423.76
2012年5月現在			409423.76

絵本プロジェクト収支報告書(2011年4月1日～2012年3月31日)

収入

項目	内 訳	金額 (円)	備考
繰越金		22430	
一般会計よりの繰入金		150000	
利子	利子外	6	
合計		172436	

支出

項目	内 訳	金額 (円)	備考
事業費		0	
ボランティアグループへの補助	3万円×5カ所	150000	

繰越金		22436	
合計		172436	

絵本プロジェクト収支予算書(2012年4月1日～2013年3月31日)

収入

項目	内 訳	金額(円)	備考
繰越金		22436	
一般会計よりの繰入金		0	
利子	利子外	4	
合計		22440	

支出

項目	内 訳	金額(円)	備考
事業費		0	
ボランティアグループへの補助		0	
繰越金		22440	
合計		22440	

会計監査報告

2012年5月21日

アジア保育教育交流推進実行委員会
(大阪マイペンライ)
代表 森 みどり 様

会計監査
田村 賢一 (印)
山下 裕子 (印)

2011年度大阪マイペンライ一般会計決算の監査結果について

大阪マイペンライの2011年度一般会計について2012年5月21日に監査した結果について、以下のとおり報告します。

記

- 1 会計期間 2011年4月1日から2012年3月31日
- 2 監査の資料
 - ① 支出・収入命令書つづり
 - ② 金銭出納一覧表
 - ③ 項目別支出・収入額一覧
 - ④ 預金通帳・郵便振替通知書
- 3 監査の結果

上記の期間における収入・支出の執行、出納など事務管理は適切になされていると認めます。

以上

第3号議案 2012年度役員体制（案・敬称略）

役 職	名 前	所 属
代 表	森 み ど り	個 人
副 代 表	大 西 智 子	大 阪 府 教 職 員 組 合
副 代 表	高 橋 定	部 落 解 放 同 盟 大 阪 府 連 合 会
副 代 表	寺 内 信 人	自 治 労 大 阪 府 本 部
事 務 局 長	稲 葉 貞 夫	個 人
事 務 局 次 長	原 田 典 子	大 阪 府 教 職 員 組 合
事 務 局 次 長	松 尾 純 代	個 人
事 務 局 次 長	増 田 和 生	個 人
兼 会 計 幹 事	松 尾 純 代	個 人
幹 事	井 澤 良 介	自 治 労 大 阪 府 本 部 保 育 部 会
幹 事	中 島 啓 治	自 治 労 大 阪 市 職 民 生 支 部
幹 事	栗 本 正 則	自 治 労 大 阪 市 従 市 民 生 活 支 部
会 計 監 査	田 村 賢 一	カ ン ボ ジ ア に 絵 本 を 送 る 富 田 林 連 絡 会
会 計 監 査	山 下 裕 子	子 ども 情 報 研 究 セ ン タ ー

運営委員 中島美智子、竹野起代、山下淳子、今村千晶、松尾久美（休会中）

実務分担（★は責任者）

- 会計処理 ★ 松尾純代、稲葉貞夫
- 通信発行 ★ 稲葉貞夫、松尾純代
- 会議資料作成 ★ 稲葉貞夫、松尾純代
- スタディツアー ★ 増田和生、松尾純代、稲葉貞夫
- 招聘研修・セミナー ★ 松尾純代、高橋定、大西智子、寺内信人、稲葉貞夫
- 絵本プロジェクト ★ 中島美智子、山下淳子、田村賢一
- クラフト販売 ★ 中島美智子、松尾純代、竹野起代
- 子どもスタディツアー ★ 増田和生、松尾純代、中島美智子